

チェルフィッチュ 〈映像演劇〉
『ニュー・イリュージョン』



記録映像: <https://vimeo.com/773214135/9b8d870aa1?share=copy>

*現実か虚構か。現在か過去か。存在か不在か。映像か演劇か。
あるいはまだ見ぬ何かか——。*

スクリーンなどに投影された等身大の役者の映像と観客の想像力によって「演劇」を立ち上げる〈映像演劇〉。これまでは美術館や展示スペースで上演／展示をしてきた同シリーズだが、2022年3月に穂の国とよはし芸術劇場プラットで上演された『階層』では奈落と客席という劇場の機構を利用した上演／展示で劇場に進出。『ニュー・イリュージョン』ではさらに、舞台と客席という通常の演劇の形式を踏襲し、劇場空間で〈映像演劇〉を「上演」する。

舞台の上に立つ一対のスクリーンに映し出された男女は、昨日までその劇場で上演されていたという、かつて二人が暮らした部屋を舞台にした演劇について語り出す。だが、そこで語られているのは演劇＝虚構の話かそれとも二人の生活＝現実の話か。スクリーンに映し出される虚構の空間と劇場という現実の空間もまた互いを侵食し、ふとした瞬間、そこにはいないはずの俳優の気配が——。舞台の上に現実と虚構、現在と過去、存在と不在が折り重なり、騙し絵のように様相を変えていく。〈映像演劇〉の新たなイリュージョンはその間隙から姿を現わすだろう。

作・演出：岡田利規 映像：山田晋平
出演：足立智充、椎橋綾那、Jeong Jung-yeop 音楽：Jang Young-gyu

製作：一般社団法人チェルフィッチュ

委嘱：Ob/Scene Festival

本作は「2022 ACC (Asia Culture Center) International Co-production Performing Arts Development Program」によって制作されました。

ツアーメンバー：6名

舞台監督 1、映像 1、音響 1、照明 1、ツアーマネージャー 1、プロデューサー 1

テクニカルライダー（英語）：[URL](#)

『ニュー・イリュージョン』上演によせて

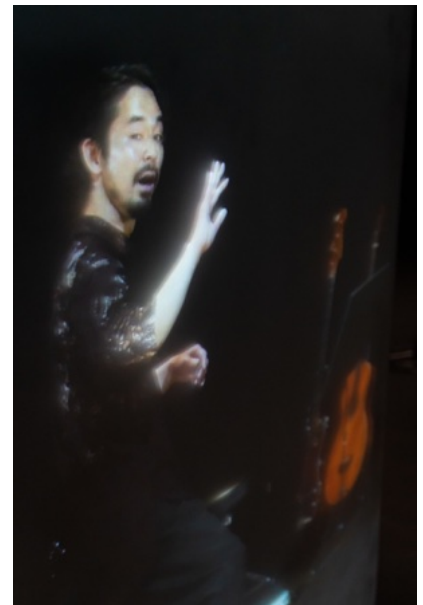
——— 岡田利規

演劇は、上演空間に実在していないものを想像のレベルにおいて存在せしめることの可能な形式です。すなわち演劇では、イリュージョンを出現させることができます。その演劇におけるイリュージョンは、ときにそこに実在すると言ってしまって差し支えないほどに確かなものとなり得ます。それがその上演に立ち会う人たちが共同で体験するイリュージョンだからです。

わたしたちチェルフィッチュは近年〈映像演劇〉という特殊な形式の演劇に取り組んでいます。〈映像演劇〉では、俳優の演技を撮影した映像が等身大サイズで投影される空間が上演空間になります。その上演空間に、投影された映像を通してイリュージョンが出現するのです。

映像に映り込んでいるものも、それが投影される上演空間の中に実在しているわけではないという意味ではイリュージョンです。けれども〈映像演劇〉におけるイリュージョンとはそれだけではありません。映像の中の俳優の演技によって生み出される演劇的イリュージョン——つまりイリュージョンが生み出すイリュージョン——が、〈映像演劇〉によって出現するイリュージョンです。

わたしはこれまでの〈映像演劇〉の実践を通して、この世界の何が現実であり何がイリュージョンであるのかを自分が正しく識別できている自信がまったくなく、と自信を持って言うことができるようになりました。この、現時点での〈映像演劇〉の最新作「ニュー・イリュージョン」を体験したら、あなたにもそうなってもらえるかもしれません。



〈映像演劇〉とは

〈映像演劇〉とは、近年、岡田が舞台映像デザイナーの山田晋平と共に取り組み始めた新しい形式の演劇であり、投影された映像が人の感覚に引き起こす作用によって展示の空間を上演の空間へと変容させる試みである。

岡田は〈映像演劇〉に、「演劇」というメディアそのものの潜在的な可能性を拡張させる大きな可能性を見出している。テクニックや形式のレベルにおいて以上に、観る人が映像の中の人物（役者）を凝視するしかたや、実物大で投影された人物の映像がもつ特有の存在感といった感覚的な経験をもたらす特性を、演劇的と捉えている。たとえば、身体を凝視するという経験の質は、それが生身の人間の身体なのか映像における身体なのかによって、大きく異なる。演劇という形式の特性のなかには、映像というメディアによってより生かされ、はっきりとしていくものがある。その作用を用いて、映像による演劇をつくる。それを今のところ、〈映像演劇〉と呼んでいる。

これまでの〈映像演劇〉

渚・瞼・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉

Videos: <https://vimeo.com/user/21600075/folder/4164234>

製作：一般社団法人チェルフィッチュ

2018年4月28日(土)～6月17日(日) 熊本市現代美術館

チェルフィッチュの〈映像演劇〉 風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事

Videos: <https://vimeo.com/user/21600075/folder/3060621>

製作：札幌文化芸術センターSCARTS・札幌文化芸術劇場hitaru（札幌市芸術文化財団）
一般社団法人チェルフィッチュ

2020年7月14日(火)～8月1日(土) 札幌文化芸術交流センター SCARTS SCARTSコート

2021年5月14日(金)～5月21日(金) 穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

市民と創造する演劇『階層』

クリエーションアーカイブ映像: <https://youtu.be/m0juk3KByCI>

主催：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

2022年3月3日(木)～3月6日(日)

作中に〈映像演劇〉の手法を使用

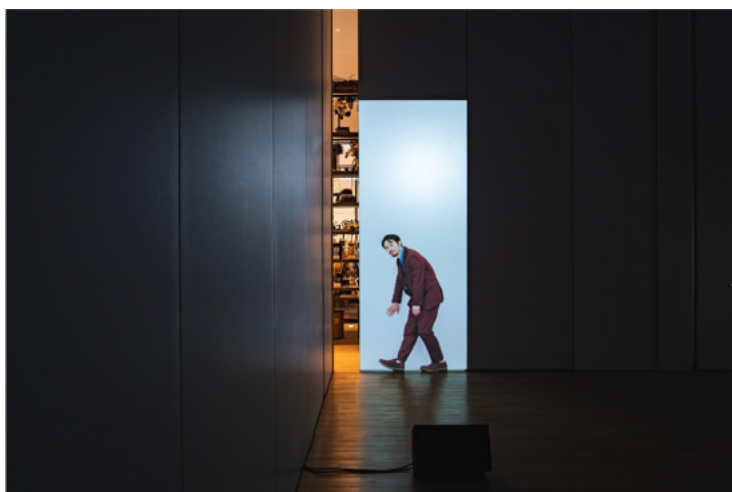
チェルフィッチュ×金氏徹平

『消しゴム山』（初演：2019年 KYOTO EXPERIMENT）

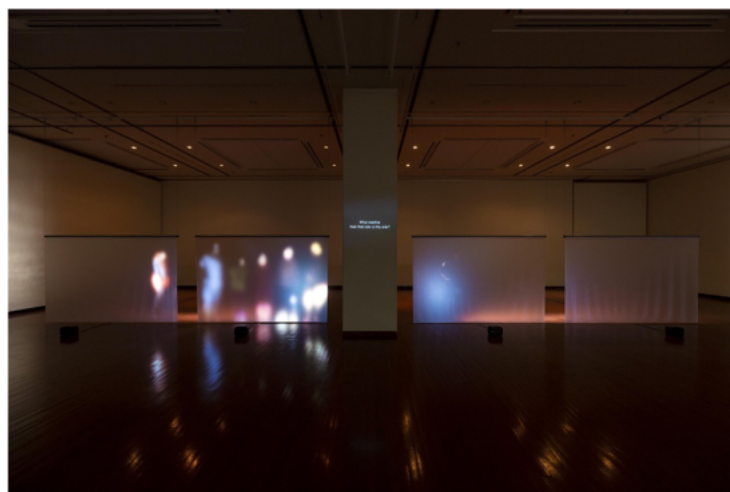
Video: <https://vimeo.com/560660107/3713c95ff5?share=copy>

『消しゴム森』（初演：2020年 金沢21世紀美術館）

Video: <https://www.place.dev/player/index.php?key=DDRrXXnqYR>



「仕切り壁が仕切りを作っている」
『風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事』より



「The Fiction Over the Curtains」
『渚・瞼・カーテン』より

クレジット

作・演出 岡田利規

映像 山田晋平

出演 足立智充、椎橋綾那、Jeong Jung-yeop

録音・音響 中原楽 (Luftzug)

照明 高田政義 (RYU)、葭田野浩介 (RYU)

衣裳 藤谷香子 (FAIFAI)

舞台監督 川上大二郎、守山真利恵

録音 佐藤佑樹、株式会社大城音響事務所

映像アシスタント 齊藤詩織 (青空)、樋口勇輝

通訳 イ・ナウオン

英語字幕 アヤ・オガワ

音楽 Jang Young-gyu

委嘱 Ob/Scene Festival

製作 一般社団法人チェルフィッチュ

企画制作 株式会社precog

協力 公益財団法人セゾン文化財団、空、オフィススリーアイズ

本作は「2022 ACC (Asia Culture Center) International Co-production Performing Arts Development Program」によって制作されました。

precog

株式会社precog / 〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂 1-24-15 / info@precog-jp.net

Tel 03-6825-1223 / Fax 03-6421-2744

担当：水野恵美